

日本では一般に正解・良いを○、不正解・悪いを×、一部を表す場合でも○○△△の順で「たいへんよい・よい・どちらでもない・悪い」のように使います。△の記号で表し正解・どちらでもないを△の記号で表します。テス

トコロ 变われば ○×△は海外では通じない? ■日本vs欧米

日本にはなかなか受け入れがたいことだよね。○と×が逆なんて、日本人にはなかなか使つこいようですが、「このランチはマル」ところがこの○×

△の使い方は海外ではまったくと、いうほど通じません。欧米では正解は×、不正解は○とまるで逆。さらに△はといえれば完全に意味不明のよう、欧米で正解ともいえない場合は具体的に理由を書くのだそうですが、△と×の順で「たいへんよい・よい・どちらでもない・悪い」のようになります。△の記号で表します。

海外製の電化製品など、○と△のスイッチを見たことがある人もおられる



日本と同じように使

うほか、テストでは△も使用します。ただし不正解は×や△が△も△が一般的なの

竹と笹(ささ)

7月7日は「笹の節句」。
本当は竹でなく笹を使うのが正しいみたい。



日本と同様に使

うほか、テス

トでは、△と△の

竹と笹はどうして、基本的には竹は大きくなりませんが、なかには高さ8mにもなるメダケとい

う笹があつたり、せ

り大きい2mにしかな

いぜい2mにしかな

らないオカメザサとい

う竹があつたりと

複雑な関係です。

また竹は葉の筋で

なつているのに對し

本出ています。

に對し、笹は5~6

cm程度で、枝も竹が

竹は皮が落

ちません。枝も竹が

竹は皮が落